

季節の花で押し花づくり・押し花を使った作品作り

～ 1. 学校花壇で育てた草花や、季節の野草で押し花を作る～

～ 2. 押し花で、はがき作り～

作成者：全国花育活動推進協議会 事務局

監修：日本レミコ押し花学院 近藤政代

□ 対象者・人数：小学校低学年～高学年 1クラス30名程度

□ 所要時間：1回、1時限（45分）

□ 指導者・アシスタント人数：指導者1名、アシスタント2名

□ 実施場所：小学校、イベント



□ 資材：・半紙（1人1枚）

・ピンセット

・はさみ

・ティッシュ

・ぞうきん

・マジックなど筆記用具

・押し花用吸水ボード

・カバーフィルム

・ラミネーター

・はがき又は、はがきサイズの画用紙



半紙、はさみ、ピンセット
ボンド、ぞうきん



押し花用吸水ボード

□ 花材：・季節の花など

・パンジー、ビオラ、

・アリッサム

・ナノハナ

・クローバー

など身近な花や植物



パンジー、ビオラ、アリッサム



クローバー

【指導内容と目的】

- ・自分で育てた草花や、季節の花を大切に長く楽しむ気持ち大切に育てるを押し花することで、草花をよく観察してさまざまな発見や植物にふれる楽しさを感じてもらう。
- ・押し花を身近なものにデザインして楽しんだり、完成した作品を身近な家族や卒業祝いに高学年に感謝の気持ちを込めてプレゼントするなどやさしい気持ちを育てたい。
- ・花の種類や色などは児童が自由に選ぶことで、個性豊かに自由に表現することができる。

【対象者への配慮】

○安全面での配慮

- ・はさみやピンセットなどを使用するので、使い方については必ず説明をし、細かい作業をするときはアシスタントが補助を行うようにする。

○花材について

- ・自分たちで育てた花壇や鉢植えの草花を使うと、親しみがわいたり興味を持つきっかけとなる。
- ・花に限らず身近にある野草なども押し花にすることができる。

○その他

- ・低学年への説明は、黒板やホワイトボードを使い図解で説明するとよい。
- ・「押し花を作る」時に欠席した児童の分は、アシスタント等が少し多めに押しつけて用意しておく。（又は、担任の先生に協力いただき押し花を押しておくこと）

1. 事前の打ち合わせ

・押し花にする草花の用意

花壇で育てた草花、家の庭に咲いている花、など事前に使う草花を決めておく。

(咲いている花や植物が手に入らないときは、花店で購入するなど相談する)

・作った押し花で何を作るかを決めておき、押し花にする花の量を調整する。

2. 当日の流れ

<1. 押し花の押し方> 時間(所要時間) 45分

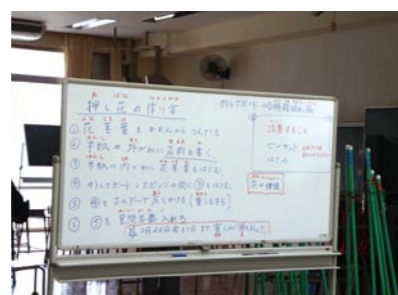
① 準備

- ・草花や植物は、事前に摘みとって用意する。
- ・家にある花を持ってきてても良い。(家で摘み取った花は、水に濡らしたティッシュに付けて持ってくるとよい)



② 挨拶 講師 自己紹介

- ・今日の押し花の内容や、作った押し花で何を作るかを説明。
- ピンセットの扱い方を説明(先が尖っているので注意すること)



③ 半紙には名前を書く

- ・草花や植物を挟む半紙は、二つに折った裏側に名前を記入しておく。



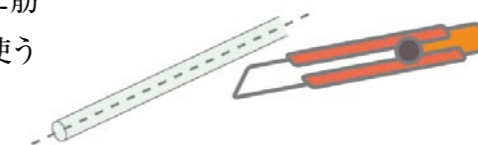
④ 二つ折りをした半紙に、草花を挟む

- ・雨の後や朝露など、花の表花に水分が付いているときは、ティッシュで拭き取ること。

- ・花や葉などの姿をよく見て、厚みのある花・薄い花・一重咲き八重咲きなど、それぞれの特徴や色合いを観察する。
- ・小～中輪の花が取り扱いやすい。



- ・茎が太いものは、ピンセットの先やカッターを使って茎に筋を入れ傷を付けて水分が出やすいようにする。(刃物を使うときは、アシスタントが補助をすること)



- ・花と茎と葉は、それぞれ切り離れた状態で押すときれいに乾燥する。



⑤ 乾燥させる

- 専用の押し花用乾燥シートに挟み、袋など密閉したところに入れて保管をして乾燥させる。(パンジーやビオラなどであれば、3日から5日で完成する)



<2.「はがき」などの作り> 時間(所要時間) 45分

① 準備

- ・作った押し花(半紙に挟んだ状態)を各自に配り、机の上に置いておく。

② 挨拶 講師 自己紹介

- ・今日の押し花の内容を説明する。(はがき、しおり、ランチヨンマットなどその時に作る物とその枚数・必要な道具などを説明)
- ・自分の押し花を使って、どのようなデザインにするかイメージをふくらませるようにする。(押し花を押しした実物を紹介するとよい)



③ 押し花の完成を確認する



④ 誰にプレゼントをするかななどを、考えながら花の配置を決める。

- ・ピンセットでそっと押し花をはさみ、はがきにデザインする。
- ・デザインに迷っている児童には、使い道などをイメージできるように声かけをする。



⑤ 配置が決まったら押し花にボンドを付けて、はがきに貼り付ける。

- ・押し花に付けるボンドは、少量にするように声をかける。

⑥ 押し花の上にフィルムを貼りラミネートする。

- ・30人程度の児童であれば、3台ぐらいあるとスムーズ(10人に1台ぐらい)
- ・ラミネーターの設置場所を配慮する。



- ・完成した児童から自分の周りを片づけ、ゴミなどを捨てる。

⑦ 完成した作品をみんなで鑑賞する。

- ・完成したはがきやしおりなどを友達の作った作品の色々なアイデアみんなで見るとよい。
- ・お互いの作品を鑑賞することで、自分では考えつかなかったデザインやアイデアなどに気が付く。



⑧ 感想を発表する。

- ・どんな花や植物を使ったか?
- ・どんなことを考えながらデザインをしたか?
- ・誰にプレゼントするのか? など。



⑨ 挨拶をして終了

※その他の押し花作品



フィルムに押し花を挟んだしおり



ランチヨンマット